

## 第25回 安房地域母親大会

# いま、安房の私たちにできること

## ～災害復興、農業の再生と食の安全～

第一部 13:35～14:15

### 緊急報告「台風15号・19号からの復興」

- 安房の台風災害の状況と支援活動  
安房フォーラム支援隊 池田恵美子 さん
- 鋸南町から発信して～情報の大切さ  
鋸南町町議会議員 笹生あすか さん
- 農家からの声～小さい農業と地域力  
やぎ農園 八木幸枝 さん

第二部 14:25～16:30

### 講演「農業の再生と食の安全 ～安房で暮らし続けるために～」

質疑応答・フリートーク

#### 講師 鈴木宣弘 教授 (東京大学 農業経済学)

農林水産省、九州大学教授を経て、2006年より東京大学教授、1998～2010年コーネル大学客員教授。専門は農業経済学。日韓、日チリ、日モンゴル、日中韓、日コロンビアFTA産官学共同研究会委員、食料・農業・農村政策審議会委員、財務省関税・外国為替等審議会委員、経済産業省産業構造審議会委員を歴任。国際学会誌Agribusiness 編集委員長。JC総研所長も兼務。『食の戦争』、『岩盤規制の大義』、『悪夢の食卓』、『牛乳が食卓から消える？酪農危機をチャンスに変える』、『亡国の漁業権開放』等、著書多数。



12/8(日)  
13:30-16:30  
(13:00開場)

資料代  
500円

会場  
千倉保健  
センター  
3階

資料代の一部は  
災害支援金として  
寄付させて  
いただきます



安房から考えよう、  
日本の未来。



【主催】第25回 安房地域母親大会実行委員会

国連NGO新日本婦人の会館山支部、国連NGO新日本婦人の会鴨川支部、国連NGO新日本婦人の会鋸南やまゆり班、  
安房連協安房地域女性連絡会、全日本年金者組合安房支部、NPO法人安房文化遺産フォーラム

【後援】館山市教育委員会・南房総市教育委員会・鋸南町教育委員会・鴨川市教育委員会

## 開催に あたって

安房地域母親大会は、今年で25回目となります。私たちは、温暖で豊かな自然に恵まれたこの地域で、健康で、幸せを願って生活しています。命を育む食を支える農業の恩恵を受けながら、子どもを育て、家族を見守ってきました。

しかし、食糧自給率が37%に低下し、輸入大豆や小麦から発がん性物質が見つかるなど、食の安全が危機的状況にあることに心を痛めていました。

そんな時、台風15号、19号の暴風雨で甚大な被害を受け、生活や農業などの災害復興が最優先の課題となりました。

今回は、第一部を緊急報告として、災害の現場で活動した経験と課題について各方面からお話しいたします。続いて第二部として、農業と食の安全に詳しい東京大学の鈴木宣弘教授(農業経済学)に講演いただき、農業従事者とともに、生活者としての私たちも何ができるのかを考え合いたいと思います。

この会は、男女、未婚既婚、世代は関係なく誰でも参加できます。多くの方のご来場をお待ちしています。

### 第一部 報告者プロフィール

#### 池田 恵美子さん (安房フォーラム支援隊/NPO法人安房文化遺産フォーラム事務局長)

NPO法人安房文化遺産フォーラムが中心となって、キリスト教系国際NGOの災害ボランティア団体と連携を図り、網の目からもれた被災者救済をネットワークで行ってきました。その中で見えてきた課題などをお話しします。

#### 笹生 あすかさん (鋸南町町議会議員)

介護福祉士として18年間病院勤務。父の在宅介護のためUターンし、今年4月より鋸南町町議会議員。台風15号の被災後、メディアで全く報道されない状況を危惧し、鋸南町の現状を毎日Twitterで発信し続けました。それにより全国に支援の輪が広がった経緯、災害時の情報共有の大切さをお伝えしたいと思います。【<https://twitter.com/sasoasuka>】

#### 八木 幸枝さん (やぎ農園)

三芳地区で夫と有機農業をしています。台風15号では、掛け干した稲が水に浸かり掛け直したり、米を入れてある倉庫の瓦が飛び雨漏りして糶が濡れたりという被害がありましたが、たくさんの方の助けで乗り切ることができました。農業は自然に寄り添う暮らしなので、自然に恐れを感じますが、敬う気持ちを忘れてはいけないと思っています。

### お申し込みについて

- ・お申し込み不要です。直接会場へお越しください。
- ・途中参加、退場もOKです。

### 託児について

- ・2歳～未就学児は託児が可能です(先着10名まで。保険代100円/名)
- ・事前予約をお願いいたします。

母親大会とは「生命を生み出す母親は、生命を育て、生命を守ることを望みます」をスローガンに、日常の様々な問題、教育や平和などについて話し合う場です。

問い合わせ先 (石井) 080-5516-9926  
mamiko\_14m@yahoo.co.jp



<会場>千倉保健センター  
千葉県南房総市千倉町瀬戸2705-6